

- 本日開催いたしました教育委員会会議におきまして、「県立高等学校の再編整備」について、決定いたしましたので、その内容を御説明いたします。
- 令和4年度から、安芸高等学校、呉昭和高等学校の生徒募集を停止いたします。
- 生徒募集を停止する理由の前に、本県の県立高等学校を取り巻く現状について御説明いたします。
- 添付資料1ページの表を御覧ください。  
令和2年度の県内中学校第3学年は、在籍者数でございますけれども、昭和63年度のピーク時は48,780人で、その半数程度まで減少しております。今後15年間で4,500人程度さらに減少する見込みでございます。
- 本県では、昭和45年〔度〕からの生徒急増期に対応するため、県立高等学校全日制本校を30校、新設等により設置しております。
- 一方で、平成元年度以降の生徒急減期におきまして、募集停止・統合等を実施いたしまして、学校数は11校の減となっておりますけれども、そのほとんどが、中山間地域を中心に行っております。中山間地域以外の地域につきましては、入学定員を減らすということで対応してまいりました。
- また、中山間地域以外の地域につきましては、ピーク時から学校数がほとんど変わっておりません。全体として学校の規模が縮小しております。〔今後の県立高等学校の在り方に係る〕基本計画で定める1学年4〔学級〕から8学級の範囲内を下回る学校が、平成元年度では2校であったのが令和3年度には12校に増えている状況でございます。
- 県立高等学校におきまして、学校の特色を生かした活力ある教育活動を積極的に展開していくためには、特に中山間地域以外の地域におきまして、学校規模の適正化に早急に取り組んでいく必要があると考えております。
- 報道提供資料の表面にお戻りください。次に、両校の生徒募集を停止する理由でございます。
- 三つ目の○からでございますけれども、両校は、生徒急増期の対策といたしまして開校した学校でございますけれども、広島市東区内、及び呉市内の公立中学校第3学年在籍者数はピーク時の半分以下まで減少しております。

- また、現状におきまして、1 学年 4 学級から 8 学級の範囲内を下回る学校となっております。定員割れが残念ながら生じているという実態がございます。
- 開校当時と比べまして、両校の近隣にある中学校から進学した生徒の割合は大きく減少しております。
- 当該中学校の通学区域でございますけれども、比較的交通の便が良い場所に位置しております。その地域からの通学は、近隣の高等学校まで距離ですとか、あるいは公共交通機関の状況等から、中山間地域に比べまして十分可能であるということが挙げられると思います。
- これらの状況につきまして、本日、教育委員の皆様方に御説明を申し上げたとともに、令和 4 年度から生徒募集を停止することを提案いたしまして、本日、承認されました。
- 両校の在校生の皆様方、それからこれまで学校を支えていただいた方々のことを考えますと、大変申し訳なく思っておりますとともに、これからの子供たちの教育環境を守って、さらに向上させていくために、苦渋の決断をいたしました。
- 今後についてでございますけれども、令和 3 年 2 月の定例県議会に両校の廃止に係る議案を提出いたしまして、審議を受ける予定でございます。
- 再編整備についての説明は、以上でございます。